

予報期間 10月23日から10月29日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- ・台風第30号については最新の台風予報を参照。
- ・25日は、中国東北区の高気圧が日本海に張り出し、前線が東シナ海から日本の東にのびる。
- ・26日から27日にかけて、低気圧が日本付近を進む。
- ・28日は、低気圧が発達しながら千島近海に進み、高気圧が西日本付近に移動する。
- ・29日は、高気圧が日本の東に移動する。

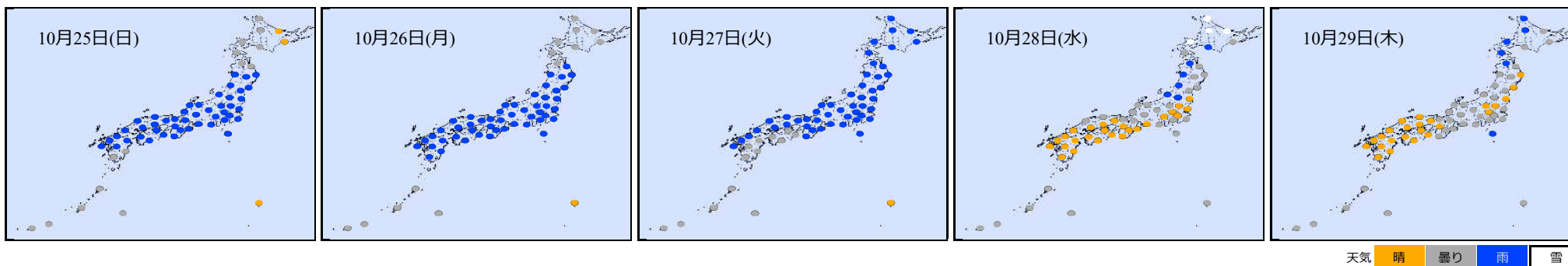
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- ・26日頃にかけては、西日本と沖縄・奄美では、台風第30号の影響でしける所があり、台風の進路等によっては大しけや警報級の高潮となるおそれがある。
- ・26日頃にかけては、台風第30号や前線の影響で、東日本から西日本にかけて大雨となり、台風の進路や前線の活動の程度等によっては、警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

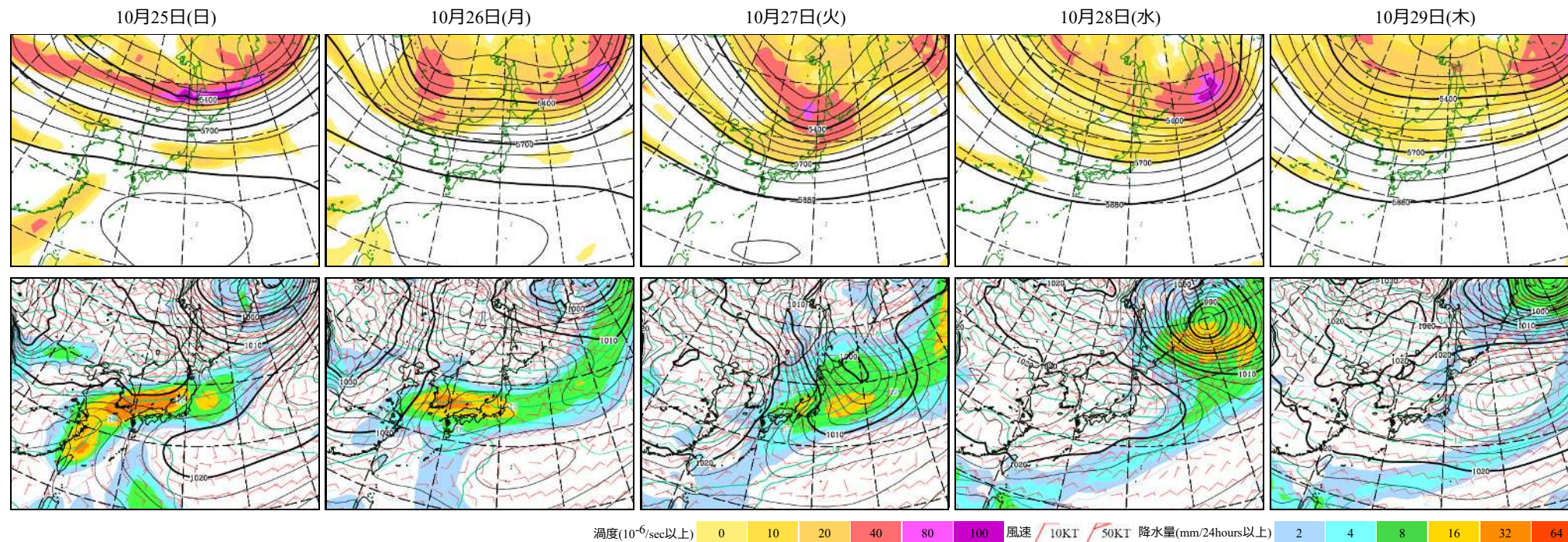
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

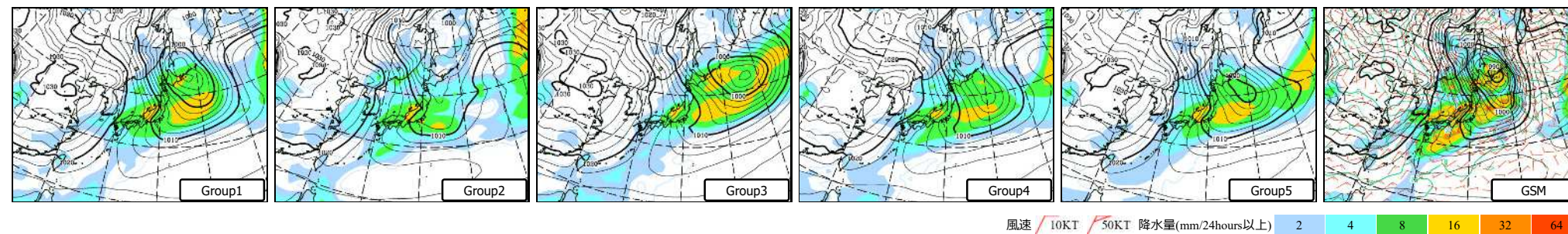


- ・北日本は、雲が広がりやすく、雨または雪の降る所がある。
- ・東日本と西日本は、25日から27日にかけては曇りや雨の降る日が多い。28日と29日は曇りや晴れる所が多い。
- ・沖縄・奄美は、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)



◆10月27日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSM予想図 海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- ・最新のアンサンブル資料(ENS)は、27日は、千島近海の低気圧が強くなった。28日は、西日本付近の高気圧の東進が早くなった。
- ・25日から26日にかけて、各モデル本州付近に前線を予想しているが、その位置にはモデル間に差がある。
- ・降水確率ガイダンスの値は、28日に北日本で小さくなった。
- ・スプレッドは比較的小さく、特定高度線のばらつきも小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- ・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。